当院で上部消化管癌手術を受けられた患者様へ

研究に関するお知らせ

研究の名称：上部消化器癌手術でのGLIM低栄養診断の意義に関する観察研究(後ろ向き研究)

■研究目的・方法・対象

上部消化管癌(食道癌・胃癌・食道胃接合部癌)では、消化管閉塞に伴い食事摂取困難となる例も多く、低栄養と治療成績の悪化について関連が知られています。

これまで低栄養についての定義が明確ではありませんでしたが、GLIM(Global Leadership Initiative on Malnutrition)基準による低栄養診断が世界的に標準となりつつあります。

しかしながら、GLIM低栄養が上部消化管癌の治療成績の予測に有用性かどうか、現在の所明確な証拠はありません。そこで、GLIM低栄養が上部消化管癌での治療成績の予測因子となりうるかを検討致します。

■研究期間

承認日～2028年12月31日まで

■研究対象・研究に用いる情報の種類

2015年1月1日から2025年9月25日までの間に、当院にて根治手術を行った上部消化管癌の手術例のうち、カルテ情報から後方視的にGLIM基準での低栄養診断が可能であった事例を対象とします。低栄養スクリーニング(MUST)結果、血液検査所見、筋肉量(CT検査から推定)、癌種、根治手術術式、術後合併症、病理学的進行度、再発の有無、術前補助化学療法を実施した場合は画像・組織学的治療効果などの臨床病理学的因子を電子カルテ情報から抽出します。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究では、患者を個人情報に配慮してデータを収集致します。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。みなさまに新たにご負担頂くことはございません。当研究への協力を希望されない場合は、研究担当者までお問い合わせ下さい。

■研究責任者： 京都医療センター外科　中西　保貴

■お問い合わせ先

京都医療センター外科

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1　　電話：075-641-9161

■掲示場所・交付場所

京都医療センター外科ホームページへ掲載